

## 基本目標

## 災害等に備えた住まいづくり・まちづくり

近い将来、南海トラフ地震が起きる可能性が高い本県においては、住宅の耐震化は、県民の生命・財産を守るための必須条件であり、喫緊の課題となっています。また、平成30年の豪雨災害により本県は甚大な被害を受けたことから、近年の豪雨災害の頻発状況に対して、災害に備えた住まいや住環境の安全性向上、災害後の迅速な対応が重要となります。

このように、今後も必ず発生する様々な災害に備えるとともに、被災後の復興も見据えることで、被害を最小限に食い止める住まいづくり・まちづくりが必要です。

そのため、災害に備えた住宅の耐震化、情報発信や防災活動の促進による防災意識の向上、災害時に速やかに対応できる体制づくり、災害が起きた場合の暮らしの再建の方針や考え方を共有する取り組み等を通じて、災害等に強い住まいづくり・まちづくりを促進します。また、災害だけでなく、防犯への配慮なども含め、安心して暮らすことのできる住まいづくりを促進します。

今後も必ず発生する災害に備え、被災後の復興も見据えることで、被害を最小限に食い止める住まいづくり・まちづくり

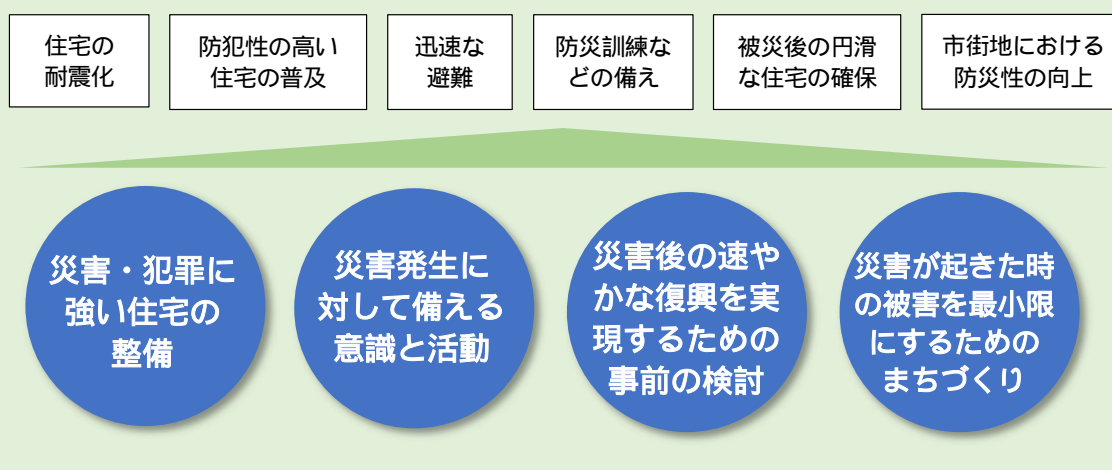
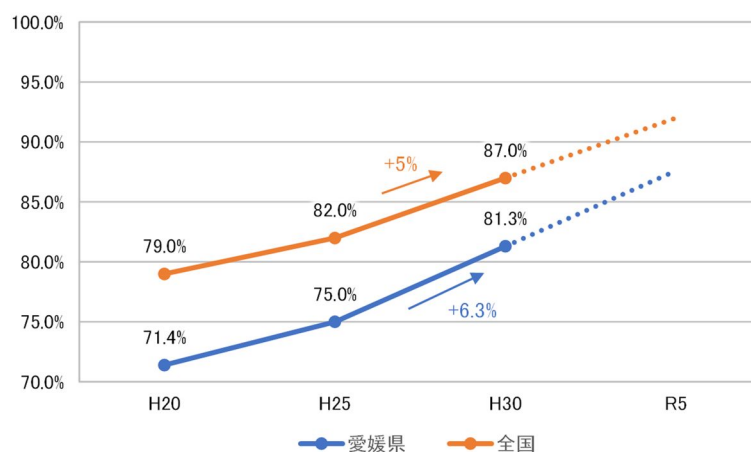


図 新耐震基準が求める耐震性を有する住宅ストックの比率の推移（平成30年推計）



資料：愛媛県